

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	●研究の名称 主膵管型膵管内粘液産生腫瘍における画像診断の有用性 ●研究の対象 2011年 1月 ～2016年 3月 までの間に主膵管型膵管内乳頭状粘液産生腫瘍（MD-IPMN）の診断にて膵切除術を受けられた方 ●研究の目的 主膵管型膵管内粘液産生腫瘍(MD-IPMN)は 60%が悪性化すると言われており、外科切除の適応といわれています。主膵管内の結節とよばれるものが悪性と言われており同部位を切除するという術式をとることが多いです。しかし結節に対する画像診断の精度については一定の報がないのが現状です。この研究では MD-IPMN の患者さんのカルテデータから 術前検査を改めて評価することで、最適な術前検査の方法を明らかにするのが今回の研究の目的です。 ●研究の期間 平成 29 年 7 月（倫理委員会承認日） から 平成 30 年 3 月 まで ●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関である市立島田病院へのデータの提供は、記憶媒体・紙媒体に保存し、郵送もしくは FAX で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
利用し、又は提供 する試料・情報の	●研究に使用する試料・情報： 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

項目	試料：血液
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 市立島田市民病院 金子淳一 聖隷浜松病院 長澤正通 浜松医療センター 住吉信一 磐田市立総合病院 高橋百合美
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 市立島田市民病院 金子淳一
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：肝臓内科 担当者：伊藤潤

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	TEL：053-435-2263 FAX：053-435-2354 E-mail：itjco@hama-med.ac.jp
--	--